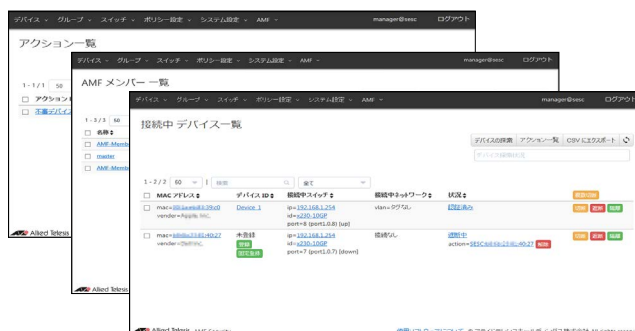


AMF SECurity



AMF-SEC (AMF SECurity) は、UTMやファイアウォールなどのアプリケーションとAMFを連携し、利用者端末のアクセス制御・監視・管理を行うことで、ネットワーク全体のセキュリティを強化するためのソリューションです。

UTMやファイアウォール・エンドポイントセキュリティなどのセキュリティ関連アプリケーションや、人事管理・IT資産管理・入退室管理などの豊富なアプリケーションを、アライドテレシス社製スイッチ・ルーター・無線LANアクセスポイントと連携することで、ネットワークの運用の効率化とセキュリティの強化を実現します。

※ 連携可能なアプリケーションは、弊社ホームページにてご確認ください。

AMF-SEC



特長

●セキュリティ強化

当社独自のネットワーク仮想化テクノロジー AMFと連携し、UTMやファイアウォールなどのセキュリティアプリケーションの脅威情報を基に、アクセス制御をAMFメンバー装置に対して実現します。

AMFでネットワークの統合管理とアクセス制御の両方を実施できるため、ネットワーク構成をシンプルにすることができます。また、エッジ・スイッチからコア・スイッチ/シャーシ・スイッチやルーターなどAMFに対応する当社のほぼ全てのインテリジェント機器とセキュリティアプリケーションが連携でき、また無線製品についてもAT-Vista Manager EXから管理することで、アクセス制御を行うことができます。セキュリティ強化に加えコスト最適化も実現可能です。

●運用管理の効率化

人事管理・IT資産管理・入退室管理などのマネジメント関連のアプリケーションとも連携でき、人事異動などの設定をアプリケーションを行うことでVLAN設定を自動的に反映させることができ、運用・管理コストを大幅に削減することが可能になります。

●デバイス認証・アクセス制御

接続デバイスのMACアドレスを用いたダイナミックVLAN仮想化ネットワークソリューションを提供します。複数のロケーション条件・スケジュール条件などを自由に組み合わせ、それぞれの利用環境に合わせたアクセス制御を実現できます。

●デバイス一括管理/通信遮断・通信隔離

許可されたデバイスの利用者、接続ポートなどの接続情報を一括確認できます。条件に応じて、標的型サイバー攻撃やマルウェア感染など、セキュリティ上思わしくない状態に至ったデバイスや利用者の通信を遮断したり、検疫ネットワークへ隔離したりすることができます。*1

*1 連携アプリケーションからの指示以外に、AMF-SECのGUI上から、被疑端末のIPv4アドレス、MACアドレス、デバイス名称、デバイスタグ名称指定により、遮断などのアクションを設定できます。

●ホワイトリスト学習モード

スイッチやルーターなどのAMFメンバー機器およびOpenFlow機能対応機器に接続または通信を行っているデバイス情報(MACアドレス)を自動で収集することが可能になります。

これにより、ネットワーク構築時にデバイス情報(MACアドレス)を自動的に収集することができるため、ネットワーク構築時の期間やコストを大幅に短縮・削減することができます。

- セキュリティ強化
- 運用管理の効率化
- デバイス一括管理
- デバイス認証
- OpenFlow機能

AMF SECURITY

特長

●未認証デバイスネットワーク

一括管理されていないデバイスのためのゲストネットワークを簡単に構築できます。

認証条件に一致しない不特定多数のデバイスを決められたネットワークに許可したり、決められた時間や場所でネットワーク参加を限定したりすることが可能となります。

接続されたデバイスの場所や台数なども一括で確認でき、ネットワーク運用や構成変更に必要なコストを削減します。

●OpenFlow機能対応

OpenFlow仕様バージョン1.3に基づいて、OpenFlow機能対応スイッチなどのデバイスも制御することができます。

エッジ・スイッチや無線LANアクセスポイントなどのネットワーク・デバイスを一括制御でき、プロビジョニング、運用、管理、拡張などのメンテナンスコストを削減します。

AMF-SEC テクノロジーパートナープログラム

本プログラムは、AMF-SECに関する各種技術情報入手をはじめとする、AMF-SECを利用したネットワーク運用のための技術・ビジネスモデルに基づき、パートナー各社間で相互にビジネスを成長させることを活動目的とするプログラムです。エンタープライズ向けに提供されているアプリケーションベンダー様、インテグレーター様は、本パートナープログラムを利用することによって、AMF-SECとの連携を実現し、新たな方法による新しいソリューションを創出し、そしてエンドユーザー様へご提供することができます。

最新情報は弊社ホームページをご確認ください。

仕様

サーバー動作環境 IA Server		
CPU	2.5GHz/2コア/2スレッド以上 64bit x86 プロセッサ	
メモリー (RAM容量)	4GB以上	
ハードディスク容量	80GB以上	
Network Interface	GbE x 1 ~ 2	
光学ドライブ	DVDドライブ (ブート可能なもの)	
仮想化環境 ^{※1}		
● VMware vSphere ESXi 6.0 (Hypervisor)		
OS	CentOS 4/5/6/7 (64bit)	
ハードディスク設定	シックプロビジョニング (Lazy Zeroed)	
NIC設定 (NIC数)	1 ~ 2	
CPU設定 (仮想ソケット数)	1	
CPU設定 (ソケットあたりのコア数)	2	
メモリー	4GB以上	
仮想ディスクサイズ	80GB以上	
ネットワークアダプター設定	VMXNET 3	
● VMware vSphere ESXi 6.5 (Hypervisor)		
OS	CentOS 4/5/6/7 (64bit)	
ハードディスク設定	シックプロビジョニング (Lazy Zeroed)	
NIC設定 (NIC数)	1 ~ 2	
CPU設定	2	
CPU設定 (ソケットあたりのコア数)	2	
メモリー	4GB以上	
仮想ディスクサイズ	80GB以上	
ネットワークアダプター設定	VMXNET 3	
● VMware vSphere ESXi 6.7/7.0 (Hypervisor)		
OS	CentOS 7 (64bit)	
ハードディスク設定	シックプロビジョニング (Lazy Zeroed)	
NIC設定 (NIC数)	1 ~ 2	
CPU設定	2	
CPU設定 (ソケットあたりのコア数)	2	
メモリー	4GB以上	
仮想ディスクサイズ	80GB以上	
ネットワークアダプター設定	VMXNET 3	
● Microsoft Windows Server 2012 R2/2016/2019 Hyper-V		
プロセッサ設定 (論理プロセッサ数)	2	
起動メモリー	4096MB以上	
ネットワークアダプター設定	ネットワークアダプター (レガシーネットワークアダプターでないこと)	
ハードドライブ設定	容量可変 VHDX 80GB以上	
仮想マシンの世代	第1世代であること	
設定環境	ブラウザ Google Chrome Mozilla Firefox	
サポート機能	OpenFlow/AMF対応ネットワーク装置管理	AMF アプリケーションプロキシホワイトリスト機能 AMF マスター (プロキシノード): 最大4 AMF メンバー (エッジノード): 最大510 AMF アプリケーションプロキシブラックリスト機能 AMF マスター (プロキシノード): 最大4 AMF メンバー (エッジノード): 最大600 OpenFlow 機能 OpenFlow/SES Ready ライセンス対応機器: 最大510
	MACアドレス管理	最大管理可能MACアドレス数: 5000
	ポリシー管理	最大管理可能ポリシー数: 5000
	デバイス管理	デバイス数は最大で5000、1デバイスあたり最大255MACアドレス、1デバイスあたり最大8ポリシー、MACアドレスのベンダー名表示

サポート機能	ロケーション管理	最大登録可能数: 510種類、 1ロケーションあたり最大登録可能スイッチ数: 510
	VLAN	0 ~ 4094
	ホワイトリスト学習機能	AMF アプリケーションプロキシ、OpenFlow 制御時 AMF アプリケーションプロキシおよび OpenFlow スイッチに接続された端末/機器情報の収集、および運用モード
	アプリケーション連携	Web Interface API (HTTP/HTTPS)、Syslog メッセージ、SNMP トラップによる外部連携
	AMF 連携	AMF アプリケーションプロキシ機能を持つ AMF マスターとの、脅威情報通知アプリケーション連携
	管理者機能	Web GUI、設定のバックアップとリストア、テキスト編集、読み込み、ファームウェア更新、接続ライセンス
	ログ	Syslog 対応、ユーザーアクセス、デバイスアクセス、システム/API 通信、OpenFlow/AMF 対応ネットワーク装置アクセス
	メール通知	OpenFlow 制御時 デバイス認証時、デバイス遮断時、デバイス隔離時、デバイス認証失敗時、未認証デバイス接続時、未認証デバイス検出時、ライセンスを超過した OpenFlow/AMF 対応ネットワーク装置の接続時、データベース同期状態の変化時 AMF アプリケーションプロキシ制御時 デバイス認証時、デバイス遮断時、デバイス認証失敗時、未認証デバイス接続時、未認証デバイス検出時、隔離アクション実行時
	冗長性	OpenFlow 制御時、AMF アプリケーションプロキシブラックリスト制御時 最大2システム、プライマリ (アクティブ) / セカンダリ (アクティブ) 構成 (認証データ同期)
	拡張性	接続/管理する OpenFlow/AMF 対応ネットワーク装置台数分ライセンス追加
サポート機種 ^{※2}	AMF 連携機器	AMF マスター / AMF アプリケーションプロキシ対応機器 (ブラックリスト制御) ^{※3} SwitchBlade x8112、SwitchBlade x8106、SwitchBlade x908 GEN2、SwitchBlade x908、x950 シリーズ、x930 シリーズ、AT-DC2552XS、バーチャル AMF アプライアンス (VAA)、AMF Cloud AMF マスター / AMF アプリケーションプロキシ対応機器 (ブラックリスト制御、ホワイトリスト制御) ^{※4} SwitchBlade x8112、SwitchBlade x8106、SwitchBlade x908 GEN2、SwitchBlade x908、x950 シリーズ、x930 シリーズ、バーチャル AMF アプライアンス (VAA)、AMF Cloud AMF メンバー対応機器 ^{※5} SwitchBlade x8112、SwitchBlade x8106、SwitchBlade x908 GEN2、SwitchBlade x908、x950 シリーズ、x930 シリーズ、x900 シリーズ、AT-DC2552XS、x610 シリーズ、x600 シリーズ、x550 シリーズ、x530 シリーズ、x510/x510L シリーズ、IX5 シリーズ、x310 シリーズ、XS900MX シリーズ、SH510 シリーズ、SH310 シリーズ、GS980MX シリーズ、GS900MX シリーズ、x230/x230L シリーズ、x220 シリーズ、SH230 シリーズ、GS980M シリーズ、FS980M シリーズ、IE200 シリーズ、IE210L シリーズ、AR シリーズ AMF ゲストノード対応機器 AT-TQ5403、AT-TQ5403e

仕様

サポート機種 ^{※2}	OpenFlow機能連携機器	OpenFlow機能対応機器	<p>※3 AMFマスターとメンバーそれぞれにAlliedWare Plus機器のファームウェアバージョン5.4.7-2.x以降が必要です。また、本製品のソフトウェアバージョン1.4.0以降が必要です。</p> <p>※4 AMFマスターとメンバーそれぞれにAlliedWare Plus機器のファームウェアバージョン5.4.9-0.x以降が必要です。また、本製品のソフトウェアバージョン1.6.0以降が必要です。</p> <p>※5 AMFメンバーのファームウェアバージョンは、AMFマスターのファームウェアバージョンと同じにする必要があります。</p> <p>※6 サポート対象ネットワークセキュリティ連携アプリケーションは弊社ホームページをご確認ください。</p> <p>※7 パートナー製品の連携アプリケーションは弊社ホームページをご確認ください。</p> <p>※8 ライセンス証書別紙は、OpenFlow機能 / SES Readyライセンスのバンドル製品 (製品名にFLBDが入る製品) のみに含まれます。</p> <p>※9 更新用ライセンスにはDVD-R (ソフトウェア) は含まれません。</p> <p>※ ご利用期限なしの旧ライセンスは、ソフトウェアバージョン2.x.x以降へのアップグレードに対応していません。旧ライセンスでご利用可能なソフトウェアバージョンは1.8.xまでとなります。</p> <p>※ ソフトウェアバージョン1.7.xまでをご利用中で2.x.x以降へアップグレードする場合は、まず1.8.xにアップグレードし、引き続き1.8.xから2.x.x以降にアップグレードしてください。</p> <p>※ OpenFlowとAMFアプリケーションプロキシの混在構成はサポートしていません。</p>
		SwitchBlade x908 GEN2、x950シリーズ、x930シリーズ、x550シリーズ、x530/x530Lシリーズ、x510/x510Lシリーズ、x310シリーズ、x230/x230Lシリーズ、IE340/IE340Lシリーズ、IE210Lシリーズ、AT-DC2552XS、AT-TQ4600、AT-TQ4400、AT-TQ5403、AT-TQ5403e	
	SES Readyライセンス対応機器 ^{※6}	XS900MXシリーズ、SH510シリーズ、SH310シリーズ、GS900MXシリーズ、SH230シリーズ、GS980MXシリーズ	
	連携アプリケーション (UTMなど) ^{※7}	AT-AR4050S、AT-AR3050S、ほか	
パッケージ内容	基本ライセンス		
	ソフトウェア使用権許諾契約書、ライセンス証書、ライセンス証書別紙 ^{※8} 、DVD-R (ソフトウェア) ^{※9} 、最初にお読みください、 アンニアルライセンス (AMF-Security用) の発行について		
	追加ライセンス		
	ソフトウェア使用権許諾契約書、ライセンス証書、 アンニアルライセンス (AMF-Security用) の発行について		

※1 本内容は、動作を保証するものではありません。

※2 最新のサポート機種情報は弊社ホームページをご確認ください。

製品ラインナップ^{※1※2}

コードNo.	製品名	製品概要
04200	AT-SESC-BaseST-FLBD-1Y-2020 ^{※3}	基本ライセンス+OpenFlow機能 / SES Readyライセンス (50IP, 1年)
04201	AT-SESC-BaseST-FLBD-5Y-2020 ^{※3}	基本ライセンス+OpenFlow機能 / SES Readyライセンス (50IP, 5年)
04202	AT-SESC-BaseST-FLBD-7Y-2020 ^{※3}	基本ライセンス+OpenFlow機能 / SES Readyライセンス (50IP, 7年)
04203	AT-SESC-BaseST-FLBD-1Y-2020更新用 ^{※3※4}	基本ライセンス+OpenFlow機能 / SES Readyライセンス (50IP, 1年) 更新用
04204	AT-SESC-50-Lic-FLBD-1Y-2020 ^{※3}	追加ライセンス+OpenFlow機能 / SES Readyライセンス (50IP, 1年)
04205	AT-SESC-50-Lic-FLBD-5Y-2020 ^{※3}	追加ライセンス+OpenFlow機能 / SES Readyライセンス (50IP, 5年)
04206	AT-SESC-50-Lic-FLBD-7Y-2020 ^{※3}	追加ライセンス+OpenFlow機能 / SES Readyライセンス (50IP, 7年)
04207	AT-SESC-50-Lic-FLBD-1Y-2020更新用 ^{※3※4}	追加ライセンス+OpenFlow機能 / SES Readyライセンス (50IP, 1年) 更新用
03195	AT-SESC-BaseST-FLBD-1Y-2018更新用 ^{※4}	基本ライセンス (10IP, 1年) + OpenFlow機能 / SES Readyライセンス (10IP, 1年) 更新用
03189	AT-SESC-10-Lic-FLBD-1Y-2018更新用 ^{※4}	追加ライセンス (10IP, 1年) + OpenFlow機能 / SES Readyライセンス (10IP, 1年) 更新用
03193	AT-SESC-BaseST/Mini-FLBD-1Y-2018更新用 ^{※4}	基本ライセンス (5IP, 1年) + OpenFlow機能 / SES Readyライセンス (5IP, 1年) 更新用
03192	AT-SESC-BaseST/Mini-1Y-2017更新用 ^{※4}	基本ライセンス (5IP, 1年) 更新用
03194	AT-SESC-BaseST-1Y-2017更新用 ^{※4}	基本ライセンス (10IP, 1年) 更新用
03188	AT-SESC-10-Lic-1Y-2017更新用 ^{※4}	追加ライセンス (10IP, 1年) 更新用
03191	AT-SESC-50-Lic-1Y-2017更新用 ^{※4}	追加ライセンス (50IP, 1年) 更新用
03187	AT-SESC-100-Lic-1Y-2017更新用 ^{※4}	追加ライセンス (100IP, 1年) 更新用
03190	AT-SESC-200-Lic-1Y-2017更新用 ^{※4}	追加ライセンス (200IP, 1年) 更新用

※1 表中の1IPライセンスとは、コントローラーが管理する1台のOpenFlow対応ネットワーク装置またはSES対応ネットワーク装置を意味します。

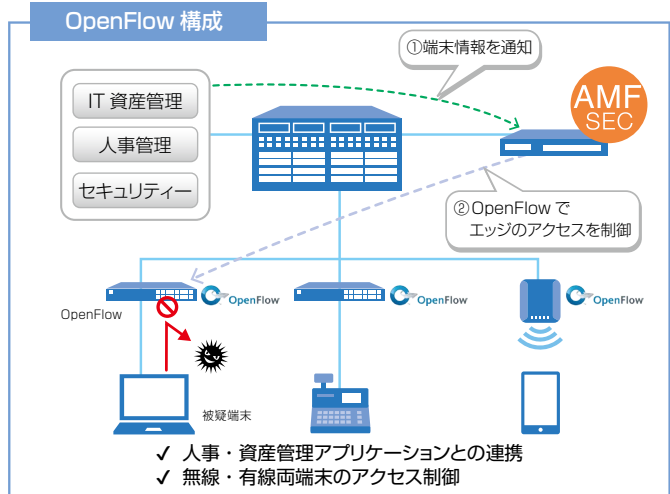
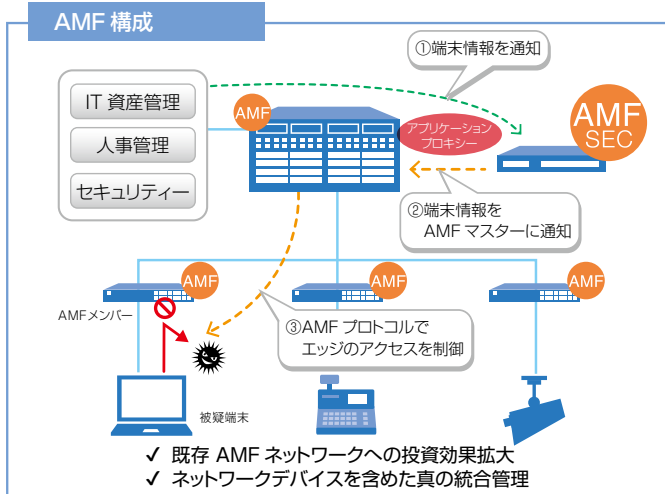
※2 追加ライセンスのみではご利用いただけません。基本ライセンスが必ず必要です。

※3 ソフトウェアバージョン2.0.0以降でご利用いただけます。

※4 更新専用ライセンスになります。新規購入時の利用可能期間にかかわらず、利用期限付きライセンスを更新する場合は、更新専用ライセンスをご購入ください。

AMF SECURITY

アプリケーション連携ソリューション



安全のために
ご使用の際は製品に添付されたマニュアル
をお読みになり正しくご使用ください。

●CentreCOM, CentreNET, SwitchBlade, TELESYN, AlliedView, VCStackロゴ, EPSRingロゴ, LoopGuardロゴ, PoE plusロゴ, AT-UWC, Allied Telesis Unified Wireless Controller, SecureEnterpriseSDNロゴ, AT-VA, AT-Vista Managerはアライドテレシスホールディングス(株)の登録商標です。●Windows, Windows Server, Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他、会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。●仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。●お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。●弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

ネットワーク構築などのご質問やご相談は
0120-860442
ホームページ
<http://www.allied-telesis.co.jp/>

販売店

アライドテレシス株式会社 最寄りの営業所の連絡先は下記にてご確認ください
〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第2TOCビル 弊社ホームページ>>会社案内>>事業所一覧